２０２６年度（令和８年度）

社会福祉法人なごみ福祉会　事業計画書

社会福祉法人なごみ福祉会

１．社会福祉法人なごみ福祉会の運営理念

人が共に生き仲良く暮らしていくために、利用者が「憩いの場」として安心して活用できる施設でありたいと願っています。そのために基本的に「メンバー（利用者）の自主性」を尊重しながら運営にあたっていきたいと思っています。その結果、社会の一員として立派に自立できることを目標とします。

２．一人ひとりの特性に応じた支援を行います。

メンバーとその家族、スタッフ、ボランティア、地域の関係者、一人ひとりが多様な価値観・属性・能力を有するかけがえのない人として、ともに支え合い、たがいに尊重し、そしてメンバー一人ひとりの日々の生活に寄り添うことを事業の基本として支援できる体制を整えます。

３．利用者・家族の地域での生活実態やニーズを把握しながら、地域での暮らしを支える拠点としての活動を引き続き推進します

利用者が主体となって活躍できる事業運営を今後も邁進し、利用者とその家族の地域での暮らしを支える拠点としての活動を引き続き推進していきます。

その為にも、「何かあったらミーティング」を合言葉に利用者との対話を通したコミュニケーションを積極的に実施し、多様性のある利用者を受け入れる地域での「ともに支え合う居場所」としての事業所づくりを、利用者と共に考え実践することを目指して運営していきます。

４．より地域に開かれた事業所を目指し、ボランティアや実習生の受け入れを積極的に行うと共にメンバーとスタッフがともに地域のボランティア活動に取り組み、堺市内外の事業所・機関と連携を行います

地域活動に積極的に取り組み、ボランティアや実習生・研修生の受け入れを積極的に行い、様々な活動において堺市内外の事業所・機関・企業との連携を積極的に行うことで、より地域に開かれた事業所運営を目指します。

ボランティアグループ「やまびこ」についても、地域に根差した活動として取り組んでいきます。

また、地域の事業所と様々な面で地域連携を行い、協働できる体制を推進していきます。

５．安定した事業所運営を目的として、愛和ハウスの移転を検討します。

老朽化している愛和ハウス（北区）が安定して運営を継続できるよう、移転を検討します。

６．危機管理に継続的に取り組みます

危機管理について継続的に取り組んでいきます。地域の事業所・機関と連携し、有事の際にどう行動すべきか社内外研修や避難訓練等を通して繰り返し見直しを行い、規定やマニュアルに随時反映し、危機的状況でも事業運営が継続して行えるように事業継続計画の策定を行います。

７．人材育成と労働環境の整備・改善を行います

障害特性に応じた個別支援をより推進するための社内外研修を積極的に実施するとともに、十分な人員配置を行っていきます。障がい特性に対応するための技術を職員で共有するための研修の実施し、将来の法人運営を担う職員の育成を強化、人員の確保と定着を行うために労働環境の整備と業務改善を行います。

８．虐待防止及び利用者の権利擁護に関する取り組みを推し進めます

職員の障害特性の理解と対応力の向上、及び利用者相互の障害特性の理解を目指した事業所運営を行っていきます。

虐待防止委員会、身体拘束防止委員会の設置と、年一回以上の研修実施を行い、より利用者視点での運営が可能となる事業所運営に邁進できる職員育成を目指し、支援技術向上のため毎月の社内研修実施と資格取得支援制度の利用の促進を行います。

９．ピアサポート活動に関する取り組みを推し進めます

ピアサポート活動をよりメンバー主体で積極的に行えるよう支援を行うとともに、安心して活動が行えるように関係機関と連携しながら取りくんでいきます。

停止している退院促進活動についても、再開を関係機関と連携しながら検討していきます。

以上